

あかれんが

† 複十字病院だより

〒204-8522 清瀬市松山3-1-24

TEL : 042-491-4111 <http://www.fukujuji.org>

【発行責任者】院長 工藤 翔二



複十字病院が結核治療の 「高度専門施設」に指定されました

複十字病院院長 工藤 翔二

この度、厚生労働省は、2007年に策定された「結核に関する特定感染症予防指針」（註）を6年ぶりに改正して、5月16日に告示しました。この中で、複十字病院は国内の結核医療を担う「高度専門施設」に指定されました。この度指定された「高度専門施設」は、東京にある私どもの複十字病院と大阪にある国立病院機構近畿中央胸部疾患センターの2カ所です。

今回の「結核に関する特定感染症予防指針」の改訂は、国内の結核患者が減少する中で、将来の低蔓延時代の訪れを視野に入れて、医療供給体制の再構築をはじめ、今求められている課題に対応するために行われたものです。2009年には、国内で2万4千人（人口10万人に19人）の新たな結核患者さんが発生しています。かつて毎年60万人も発生していたことを考えると、遙かに少なくなっていますが、欧米に比べると数倍も多く、日本は結核の中蔓延国とされています。

昔、清瀬には15施設5,000床の結核病床があったといいます。しかし、これから中蔓延国から低蔓延国に向かう中で、入院期間も2ヵ月足らずと短くなった今、単純な結核や重症の合併症を抱える結核は、身近なところで治療を受けられるようになる必要があります。そこで、これからの結核医療では、地域の基幹病院や、より広域的な中核病院が連携して行うようにして、これらの病院での対応が困難な結核患者を受け入れ、技術的な支援を行うなど地域医療連携体制を支援する役割をもった「高度専門施設」が、国内に2カ所指定されたわけです。

複十字病院には、現在、入院339床のうち一般医療から

隔離されて陰圧室を備えた60床の結核病床があります。年間約350人の結核患者さんが入院されますが、7割が東京都、3割が埼玉県などの近県の方々です。ここでは、1947年（昭和22年）に複十字病院が「結核研究所臨床部」として発足して以来、60年以上にわたって、同じ構内にある結核研究所と密接な連携のもとで取り組んできた高度な結核医療が行われています。薬が効かなくなった多剤耐性結核の患者さんでも、7割の方が1年以内に菌陰性化に成功しています。これは、通常用いられる抗結核薬だけでなく、様々な薬を組み合わせる治療する専門的な内科治療と、可能なら手術によって病巣を取り除く外科治療ができるからです。この5年間（2005年～2009年）に、全国13施設で結核の外科手術が111件行われていますが、そのうち40件は複十字病院でした。多剤耐性結核に限ると、全国52件中35件が複十字病院です。

複十字病院は、今、「結核・呼吸器医療」、「がん医療」、「生活習慣病と地域医療」を柱に、“特色ある医療の新たな構築”に向かって力を尽くしています。今回の結核医療の「高度専門施設」指定に十分応えることができるよう、一層頑張りたいと思います。皆様のご支援をお願いします。

註：「特定感染症予防指針」とは、感染症のうち、特に総合的に予防のための施策を推進する必要があるものについて、予防の総合的な推進を図るための指針で、「感染症法」の規定によって、厚生労働大臣が作成し、公表するものです。

売店があたらしくなりました!!

Yショップ店長 村上 裕之

複十字病院の皆様こんにちは。店長の村上と申します。

院内売店をオープンさせて頂きましてから2カ月が過ぎ、先日の感謝セールでは沢山の皆様にお越し頂き、店員一同大変嬉しく思っております。

Yショップでは『利用される方の利便性を重要視した商品の品揃え』をコンセプトに店舗作りをしております。

また、季節の変わりに伴い、商品の入れ替えも瞬時に行っていますので、お時間があります時には是非店内を覗きにいらして下さい。

『皆様に喜んで頂けるお店に』と努力を続けてまいります。

今後とも『Yショップ複十字病院店』を宜しくお願い致します。



new! 新

医師の紹介

今夏5月より、複十字病院の診療スタッフとして仲間に入れて頂き、大変有りがたく存じております。これまで、国立国際医療研究センターにて診療活動に携わっておりましたが、呼吸器科を統括すると共に、国際疾病センター長として、鳥インフルエンザ (H5N1) や2009 パンデミックインフルエンザなどの国際的新興感染症に対峙し、ベトナムやメキシコ等の医療機関との共同臨床研究も行って参りました。パンデミック感染症 (SARS、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザなど) は、医療従事者にとって、とりわけ呼吸器疾患に携わる者にとっては、避けがたいものであります。特にアウトブレイクの初期にあたっては、社会的な不安が常に大きく、治療も含めた対処方法を確立することが非常に重要な課題になっております。近年の諸研究 (私共の研究も含めて) では、早期に診断し、早期に治療介入することが、重要



工藤 宏一郎

であることが知られて来ました。早期治療介入の有用性は、他の疾患でも言えるようです。例えば、慢性疾患の喘息でも同様のようです。しかし、それを実行することは時に難しいことですし、また臨床研究を通して科学的に実証することは容易ではありません。私はこれまで、臨床活動と研究活動の統合を図ろうと努めて参りましたが、これまでの経験が、若手医師の診療活動のお役に立てればと思います。外来診療においては、呼吸器アレルギー疾患、特に喘息の患者が近年非常に増大しておりますが、これらに対する外来診療のシステム化や地域医療・連携体制の構築にも貢献できればと思っております。

new! **新**

医師の紹介

Doctor
A la carte



わか まつ たかし
若松 喬

- 配属先／消化器センター
消化器外科
- 出身地／宮崎県都城市

【趣味及び特技】

最近のブームは清瀬、東久留米周辺のおいしいお店探し

【好きな言葉】

「明日は明日の風が吹く」

【認定医登録】

日本外科学会

【専門分野及びご紹介して頂きたい症例】

消化器・一般外科ヘルニア症例あればご紹介ください。

【メッセージ】

この4月より大学病院から出向してきました。
まだまだ新米ですが、やりがいを感じつつ日々精進しております。

【趣味及び特技】

スポーツ、ドライブ

【好きな言葉】

平和

【認定医登録】

これから内科認定医試験です

【専門分野及びご紹介して頂きたい症例】

呼吸器全般

【メッセージ】

一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします



ひ る かわ い ち ろ う
肥留川 一郎

- 配属先／呼吸器センター
呼吸器内科
- 出身地／埼玉県熊谷市



く せ なお ゆ き
久世 眞之

- 配属先／呼吸器センター
呼吸器内科
- 出身地／東京都

【趣味及び特技】

ありません（探し中です）

【認定医登録】

内科認定医

【専門分野及びご紹介して頂きたい症例】

呼吸器

【メッセージ】

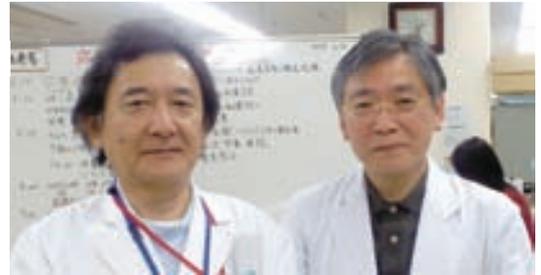
がんばります



岩手県立大船渡病院での 医療支援

公益財団法人結核予防会複十字病院 呼吸器センター長 白石裕治

私は結核予防会被災地支援の一環として4月4日から8日まで岩手県立大船渡病院へ医療支援に行ってきた。津波で壊滅した岩手県立高田病院院長の石木先生は大学医局の恩師であり、また震災後大学同期から窮状を伝えるメールが多数きていたので、何とか被災地支援をできないものかと思っていました。そんな折予防会本部から支援の話がきましたので真っ先に名乗りを上げました。



大船渡には泊まる所が確保できないため4月3日に花巻空港経由で遠野入りしました。当初花巻にしか宿が取れませんでした。武内事務部長が東奔西走して遠野に宿を確保してくれました。これが正解で、遠野は釜石、大船渡、陸前高田といった津波で壊滅的な被害を受けた三陸沿岸部へのアクセスが良く、自衛隊や各支援チームの基地が置かれていました。毎日遠野から大船渡までタクシーで片道1時間強かけて通いました。

遠野から大船渡病院に向かう道中では震災の影響は全く見られませんでした。倒壊している家屋もなく国道45号線も車の往来が激しかったです。大船渡警察署前の信号を右折し急坂を登っていくと大船渡病院があります。病院は津波対策で平成7年に高台に移転しており津波による被害は全くなかったそうです。私が行った時には電気、水道が復旧しており、建物をみる限りは震災の影響を感じませんでした。

しかし初日の午後到大船渡病院院長の八島先生から「自分も地震後ずっと病院に泊まり込みで市内がどうなっているか分からないので一緒に見に行きませんか」と誘われ、先生の車で大船渡駅周辺に行った時は余りの惨状に愕然と致しました。病院から坂を下って警察署前を右折し小高い丘を越えた所で少し海側に入ると風景は一変しました。大船渡駅の駅舎は跡形もなく、駅前のホテルもかろうじて建物が残っている状態で一面ガレキの山でした。八島先生は「何にもかも無くなってしまった」と悲しみにふけておられました。津波が来たか来なかったかで被害に大きな差が出ているのが明らかでした。

病院の建物は大丈夫ですが、病院職員の中にも津波で家を流された方が多数いて院内の色々な所に泊り込んでいる状態でした。自ら被災した病院職員が不眠不休で被災住民の診療にあたらなければならず、職員には精神的にも肉体的にも大きな負担がかかっていました。近隣の医療機関が壊滅したため唯一難を逃れた大船渡病院に患者が集中し、加えて呼吸器科常勤医がいない処に肺炎患者が急増したため呼吸器専門医による支援が必要になっていました。

院内では呼吸器外来を担当しました。入院患者は岩手医大睡眠治療科の応援医師2名が担当してくれました。外来はガレキの片付けをしてから咳が止まらなくなった人、避難所においてインフルエンザに罹った人、かかりつけの医院が津波でやられたため薬をもらいに来た人などが中心でした。高田病院で診ていた方も数名これらしました。自力で来られる方が主で、救急搬送が必要な重症肺炎は救命救急センターが対応し、センターには藤沢市民病院や杏林大学などの支援チームが入っていました。

3月11日からもうすぐ一ヶ月になるというのに未だに地震直後とほとんど変わっていないというのが大船渡の状況でした。地震発生から25日目の4月5日夕方の震災対策会議の冒頭全員で海に向かって犠牲者に黙祷を捧げました。被災地が一日も早く日常を取り戻せることを願うばかりです。

最後に被災地に赴く機会を与えて頂いた結核予防会ならびに複十字病院に感謝致します。

被災地支援活動報告

看護部長 河村 洋子

結核予防会は、2011年3月11日(金)に起きた東日本大震災地への医療援助として、医師派遣、看護師を保健活動目的で支援活動を実施しました。複十字病院看護部は岩手県下閉伊郡山田町と宮城県気仙沼市の支援に参加させて頂きました。

岩手県山田町大沢地区の人口は2231人で771世帯でしたが、津波や火災の被害が大きく、震災から3週間たった4月4日(月)の時点でも被害状況の確認が出来ていない状態でした。山田町大沢地区の避難所は2箇所ですが約300名の方が避難していましたが、避難所以外で生活している方々の状況が把握されていなかった為、保健活動までは至らない状態でしたが、生活状況、人数の調査と共に健康チェックを目的に地区を回りました。

避難所から海の方を見て家がある所へ行きましたが、作業をしている方に聞くと、500メートルほど流されて2階部分が此処にあったので整理をしているとの事。1階は何もないけど2階が残ったので避難所に行かずに此処にいます。一軒の家に26人避難している方々も居ました。一週間

の支援期間中、人数確認できたのは住宅で避難していた方300人程です。その方々の生活もさまざまでした。避難所に配給を貰いに行くと、「家があるんでしょう」と言われたので行っていない。水がないので欲しいなど生活状況にかなりの差があると感じました。少し離れて山側で家のある方は、震災後人が尋ねてきたのは始めてです。家はあっても工場、船はなくなっているのに、家があるという事で罪悪感を感じる。と言う方も居ました。道が出ている所も瓦礫の山の間を歩きましたが、瓦礫の中に人が居るようで歩くのにも勇気が必要でした。今までに感じた事のない感覚を味わいました。支援から帰ってきてからも支援ができたのか考えましたが結論は出ません。看護部としては現在まで3名が支援に参加しましたが、個々が現状を見て何が必要かを考え支援をして来てくれました。復興までには色々な方の関わりが必要だと思います。

一日も早い復興をお祈りいたします。

+ (結核予防会のジャンパーを着て活動・山田町役場から海側を見えています)





消防訓練を実施しました!

4月8日(金)午後3時より、結核研究所と合同で消防訓練を実施いたしました。東北関東大震災発生を受け、当日の問題点、今後の余震への対応を想定し、当初の訓練に加え「院内放送による情報提供・指揮」「トランシーバーによる通信・情報共有」「電気錠一斉解除(手動)による避難路確保」「各職場からの災害本部への報告書の提出」「速やかな避難誘導」「結核研究所との連携」等、地震も想定した内容としました。訓練終了後には、消防署指導による水消火器訓練を多くの職員に体験していただきました。大切な事は、繰り返し訓練を実施し病院全体で有事に備えることです。防災委員会としては、発生する(している)問題点を踏まえつつ、今後も訓練を企画・実施していきたいと思っております。



看護の日

イベント実施報告

● 2011年5月12日 実施 ●

今年は『看護の心を・みんなの心に』をテーマにイベントを企画・実施しました。

ポスターの展示、看護なんでも相談、血圧測定、体脂肪率測定、手洗いコーナー、栄養相談、血糖値測定、介護用品展示、東洋羽毛の展示と抽選会、OGの新山様・二瓶様・梶尾様の生け花、白土様・石川様の手作り小物スタンドの配布、療養病棟患者様の作品など、たいへん好評でした。準備・実施・片付けを担当してくださった方、出品していただいた方々、ありがとうございました。



各イベント報告

★血圧測定 ————— 86名

正常値入りの用紙に測定値を書き入れて渡しました。

★体脂肪率測定 ————— 71名

正常値入りの用紙に測定値を書き入れて渡しました。

★手洗い ————— 63名

グリッターバグを用いて洗い残しを確認してもらいました

★小物立ての配布は早々になくなり、終了しました

★看護なんでも相談 ————— 11件
(あえて相談ブースを作らずに、血圧・体脂肪測定後そのまま相談にはいる形式にしました)

★栄養相談(災害時の食事) ————— 約200名

★血糖測定 ————— 133名

来場者アンケート 49枚回収

イベントの中で、良かったもの3つまでに○をつけてもらい、感想を書いていただきました。人気の高かったイベントは、血圧測定17、体脂肪測定17、介護用品展示17、血糖値測定16、手洗い14でした。

楽しかった、日ごろお世話になっているスタッフに感謝、色々測定してもらって参考になった、話を聞いてもらって良かった。などの感想が多く寄せられました。

2011年5月12日 看護の日イベント担当責任者 成瀬 まゆみ

複十字病院外来医師担当表

H23.5.10 現在

待ち時間短縮のため、診察は完全予約制になっております

【初診受付】(月)~(金)▶8時30分~12時00分 / (土)▶8時30分~11時00分

【再診受付】(月)~(金)▶8時00分~16時00分 / (土)▶8時00分~11時30分

●予約センター TEL: 042-491-6228

【診察予約】(月)~(金)▶8時30分~17時00分 / (土)▶8時30分~12時00分

※診察予約の電話は午前中大変込み合いますので、午後に連絡して頂くようご協力下さい。

診療科		月	火	水	木	金	土					
呼吸器内科 261 264	初診	午前	工藤	奥村 倉島	1.3.5 2.4	尾形 (英)	吉森 吉山 斎藤	1.3.5 2.4 1.3.5	内山 早乙女	1.3.5 2.4	尾形・吉森 早乙女 尾形・吉田 吉山・内山	1 2 3 4
	一般 (再診)	午前	吉山 吉田	尾形 (英) 吉森 早乙女 窪田	吉山 内山 矢野	工藤 尾形 (英) 久世 斎藤 林	早乙女 内山 高柳 矢野 國東 (SAS 含む)	1.3.5 2.4	尾形・吉森 早乙女 尾形・吉田 吉山・内山	1 2 3 4		
		午後	窪田	早乙女 吉森 國東 伊藤	尾形 (英) 吉山 早乙女	尾形 (英) 奥村 森本 青木	1.2.3.5 奥村 矢野					
	専門 外来	午前			内山 サルコイドーシス 高柳 喘息外来							
午後		倉島 非結核性抗酸菌症 森本 非結核性抗酸菌症	工藤 (宏) 喘息アレルギー 倉島 非結核性抗酸菌症 吉田 呼吸ケア	内山 禁煙外来 高柳 (隔週) 禁煙外来	倉島 非結核性抗酸菌症 青木 禁煙外来	工藤 (宏) 喘息アレルギー 内山 禁煙外来						
呼吸器外科 261	初診	午前	白石				白石	白石	2			
	再診	午前	白石 兵庫谷				白石	白石	2			
		午後	葛城		喜多							
内科 306	初診 再診	午前	青木	肥留川	伊	大塚 (大)	斉藤					
消化器外科 305	初診	午前	池田 尾形 (正)	生形	尾形 (正) 安部	中浦	小山 麻生	中浦・小山 生形 中浦・小山 生形	1 2 3 4			
		午後	池田 尾形 (正)	生形 尾形 (正)	尾形 (正) 安部	中浦	小山 麻生	中浦・小山 生形 中浦・小山 生形	1 2 3 4			
	再診	午前	池田 尾形 (正)	生形 尾形 (正)	尾形 (正) 安部	中浦	小山 麻生	中浦・小山 生形 中浦・小山 生形	1 2 3 4			
消化器内科 305	初診 再診	午前		吉原		吉原						
		午後		吉原		吉原						
乳腺外科 335	初診 再診	午前		小西・田中	武田・田中	関口	武田・小西	武田 (第4週)				
		午後		小西・田中	武田		武田					
循環器内科 306	初診 再診	午前	鈴木 (文)	山崎	鈴木 (文)	鈴木 (文)	藤崎	鈴木 (文) (第2週)				
		午後	鈴木 (文)			鈴木 (文)	藤崎					
耳鼻咽喉科 265	初診 再診	午前	北原			大塚 (健) 3.5						
泌尿器科 266	初診 再診	午前			堀口 (午前)			林 (第2週・4週) 午前				
		午後	平野 (午後)			林 (午前・午後)						
糖尿病外来 329	初診 再診	午前			鈴木		高橋					
		午後			鈴木		高橋					
歯科 267	初診 再診	午前 午後	石黒	石黒	石黒	石黒 午前のみ	石黒	石黒 (2・4)				

●担当医は、変更になることがありますので確認のうえ、ご来院ください。

外来医師一覧

※(非)と記載のある医師は非常勤医です

【呼吸器内科】

工藤 翔二・尾形 英雄
吉田 直之・吉山 崇
早乙女幹朗・倉島 篤行
吉森 浩三・内山 隆司
奥村 昌夫・國東 博之
窪田 素子・矢野 量三
森本 耕三・青木美砂子
伊 麗娜・伊藤 邦彦
久世 真之・肥留川一郎
工藤宏一郎(非)
林志文(非)・斎藤雅美(非)
高柳喜代子(非)

【サルコイドーシス】

内山 隆司

【呼吸器外科】

白石 裕治・葛城 直哉
喜多 秀文・兵庫谷 章
平松美也子

【内科】

大塚 大輔(非)

【消化器外科】

尾形 正方・池田 義毅
生形 之男・中浦 寛
小山 英俊・麻生 喜祥
阿部 昌之

【消化器内科】

吉原 和雄

【乳腺外科】

武田 泰隆・小西寿一郎
田中 規幹
関口 守正(非)

【循環器内科】

鈴木 文男・山崎 憲(非)
藤崎 正之(非)

【耳鼻咽喉科】

北原 哲(非)
大塚 健司(非)

【泌尿器科】

林 暁(非)
堀口 明男(非)
平野 功(非)

【糖尿病外来】

鈴木 晟時(非)
高橋 和人(非)

【歯科】

石黒 和夫



複十字病院理念

私たち複十字病院の職員一同はこの理念を常に念頭において研鑽し、努力いたします。

1. 私たちは患者さま中心の医療を行います。
2. 私たちは皆様の健康を第一に考え、人格を尊重し、プライバシーを守ります。
3. 私たちは開かれた、信頼感のある医療と温かい看護を提供します。
4. 私たちは最新で最良の医療を提供します。
5. 私たちは地域の医療、保健、福祉に積極的に参加します。



● 複十字病院の基本方針 ●

1. 一般急性期病棟と療養型病棟の複合型病院として、高齢化する地域社会に貢献するとともに関東ブロックの結核拠点病院として結核予防会の使命を果たす。
2. 複十字病院登録医会を中心として、病診、病病連携を推進し地域医療に貢献する。
3. 職員教育を充実させ、患者さまへのサービスと医療の質的向上を図る。
4. 在宅医療、救急医療の充実を図るとともに、検診事業の内容を発展させ新しいがん検診システムを構築する。
5. 院内、院外の情報システムを充実し、地域社会に積極的に参加する。
6. 職員の原価意識を高め、健全な病院経営を行う。
7. 患者さまは年齢、性別、地位に関係なく十分な説明に基づいた治療を受け、第三者の意見を聞き、診療情報の開示を求める権利を有する。
8. 危機管理を充実し、医療事故防止に努める。

人事異動

2011年3月15日～6月14日まで

【採用】

(医師)	若松 喬	4 / 1
(医師)	久世 眞之	4 / 1
(理学療法士)	多門 大介	4 / 1
(看護師)	菅野 ちさと	4 / 1
(看護師)	梶川 摩紀恵	4 / 1
(看護師)	今西 知枝	5 / 15
(看護師)	牧田 雅美	6 / 1
(看護師)	原田 未央	6 / 1

【退職】

(医師)	麻生 喜祥	3 / 31	
(事務)	梅田 正子	3 / 31	定年退職
(調理師)	中 恵次	3 / 31	定年退職
(看護師)	齊藤 ゆき子	3 / 31	定年退職
(看護師)	長島 シメ	3 / 31	定年退職
(看護師)	酒井 奈美恵	3 / 31	
(看護師)	岩崎 美香	3 / 31	
(看護師)	高橋 美佳	3 / 31	
(看護師)	石澤 奈保子	3 / 31	
(看護師)	辻 寿子	3 / 31	
(医療情報技師)	千葉 大輔	4 / 30	

【人事発令】

(看護師)	難波 恵美	4 / 1付で	看護師長へ昇任
(看護師)	宮田 ゆかり	4 / 1付で	副看護師長へ昇任

行事予定

1. 登録医会第9回総会

日時▶2011年7月9日(土) 16:30
場所▶結核研究所 講堂

東日本大震災にかかる医療支援

当院より、東日本大震災にかかる医療支援・健康支援のため右記職員を派遣いたしました。

【医師】(呼吸器科)

岩手県立大船渡病院で医療支援：呼吸器科(外来・入院)を担当

2011年4月3日～4月9日

呼吸器センター長	白石 裕治
----------	-------

2011年4月10日～4月16日	診療主幹	吉山 崇
------------------	------	------

2011年4月17日～4月23日	診療録管理室長	内山 隆司
------------------	---------	-------

2011年4月24日～4月30日

呼吸器センター呼吸器内科	森本 耕三
--------------	-------

2011年5月1日～5月7日	副院長	尾形 英雄
----------------	-----	-------

2011年5月8日～5月14日

呼吸器センター呼吸器内科	奥村 昌夫
--------------	-------

2011年5月15日～5月21日	診療主幹	吉森 浩三
------------------	------	-------

2011年5月22日～5月28日		
------------------	--	--

呼吸器センター呼吸器内科	國東 博之
--------------	-------

2011年5月29日～6月4日

情報システム部長	早乙女 幹朗
----------	--------

【看護師】

岩手県山田町大沢地区および宮城県気仙沼市の避難所等で健康支援を担当

2011年4月3日～4月9日	看護部長	河村 洋子
----------------	------	-------

2011年4月17日～4月23日	看護部副部長	佐藤 厚子
------------------	--------	-------

2011年5月22日～5月28日		
------------------	--	--

看護部副部長	渡部 昌子
--------	-------

編集後記

東京電力が7月1日から「でんき予報」を提供開始するそうです。

翌日の予想最大電力などを通知との事。節電の参考にさせていただきます。どうか。(牧)

表紙の写真

花火を初めてみたのは確か小学校の頃、家族で出かけた二子玉川の河川敷だった。母がお重に詰めた天ぷらを、塩をつけて食べたことばかり思い出す。浅草の草履屋さんが連れて行ってくれた隅田川の花火は、風向きで時々煙に隠れ、おまけに首が痛くなった。この写真は、高層マンションから撮った「東京湾花火」。震災後の今年、花火は上がるのだろうか。(翔)